

エボラ出血熱対策に関する WHO ミッションへの日本人専門家参加の概要

参加する専門家：3名

参加予定期間：平成26年11月中旬出国－12月下旬帰国

訪問予定先：シエラレオネ又はリベリア

- ・シエラレオネ 2名 (いずれも疫学調査)
- ・リベリア 1名 (対策全般の管理)

目的：エボラ出血熱対策に関するWHOミッションに専門家として参加し、現地の疾病発生及び対策状況等について調査及び評価を実施するとともに、必要に応じ助言を提供する。

過去の実績：平成12年にウガンダにおいてエボラ出血熱の流行が発生した際、WHOの要請を受けて、厚生労働省は、3回にわたり計5人(延べ6人)の専門家を派遣しています。

平成24年にウガンダにおいてエボラ出血熱の流行が発生した際、WHOの要請を受けて、厚生労働省は計1人の専門家を派遣しています。

平成26年5月と8月にリベリアに、7月にシエラレオネに、10月にシエラレオネに、WHOの要請を受けて、エボラ出血熱対策の専門家として、5名(延べ6名)の専門家が派遣されています。

参考 (厚生労働省検疫所ホームページ)：

- ・エボラ出血熱

<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name48.html>